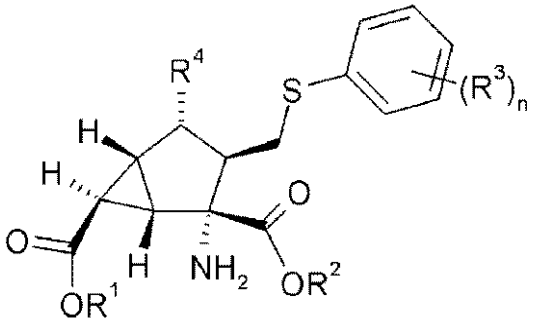
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成26年11月20日(2014.11.20)

【公表番号】特表2014-505664(P2014-505664A)
【公表日】平成26年3月6日(2014.3.6)
【年通号数】公開・登録公報2014-012
【出願番号】特願2013-539938(P2013-539938)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｃ 323/63 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/196 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/225 (2006.01)
Ｃ０７Ｄ 249/12 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/4196 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/24 (2006.01)
Ａ６１Ｐ 43/00 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 45/00 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/138 (2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/343 (2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｃ 323/63 ＣＳＰ
Ａ６１Ｋ 31/196
Ａ６１Ｋ 31/225
Ｃ０７Ｄ 249/12 ５１２
Ａ６１Ｋ 31/4196
Ａ６１Ｐ 25/24
Ａ６１Ｐ 43/00 １０５
Ａ６１Ｋ 45/00
Ａ６１Ｋ 31/138
Ａ６１Ｋ 31/343

【手続補正書】
【提出日】平成26年10月1日(2014.10.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
以下の式の化合物

【化１】



［式中、R^1およびR^2は、各々独立して、水素、C_1－C_3アルコキシカルボニルオキシメチル、C_1－C_5アルキルカルボニルオキシメチルまたはC_{3-6}シクロアルキルカルボニルオキシメチルであり；
R^3は、独立して各存在において、メチル、フルオロまたはクロロであり；
R^4は、ヒドロキシル、アミノ、メチルカルボニルアミノまたは１，２，４－トリアゾリルチオであり；
ｎは、１または２である］
またはその薬学的に許容可能な塩。
【請求項２】
R^1およびR^2が各々水素である、請求項１記載の化合物、またはその薬学的に許容可能な塩。
【請求項３】
R^1およびR^2が、同じでありかつ水素以外である、請求項１記載の化合物、またはその薬学的に許容可能な塩。
【請求項４】
ｎが２であり、R^3基がフェニルの３および４位に存在する、請求項１から５のいずれか１項に記載の化合物。
【請求項５】
（１Ｓ，２Ｒ，３Ｓ，４Ｓ，５Ｒ，６Ｒ）－２－アミノ－３－｛［（３，４－ジフルオロフェニル）スルファニル］メチル｝－４－ヒドロキシビシクロ［３．１．０］ヘキサン－２，６－ジカルボン酸である請求項１記載の化合物またはその薬学的に許容可能な塩。
【請求項６】
ビス（｛［（１－メチルエトキシ）カルボニル］オキシ｝メチル）（１Ｓ，２Ｒ，３Ｓ，４Ｓ，５Ｒ，６Ｒ）－２－アミノ－３－｛［（３，４－ジフルオロフェニル）スルファニル］メチル｝－４－ヒドロキシビシクロ［３．１．０］ヘキサン－２，６－ジカルボキシレートである請求項１記載の化合物またはその薬学的に許容可能な塩。
【請求項７】
（１Ｓ，２Ｒ，３Ｓ，４Ｓ，５Ｒ，６Ｒ）－２－アミノ－３－｛［（３－クロロ－４－フルオロフェニル）スルファニル］メチル｝－４－ヒドロキシビシクロ［３．１．０］ヘキサン－２，６－ジカルボン酸である請求項１記載の化合物またはその薬学的に許容可能な塩。
【請求項８】
ビス（｛［（１－メチルエトキシ）カルボニル］オキシ｝メチル）（１Ｓ，２Ｒ，３Ｓ，４Ｓ，５Ｒ，６Ｒ）－２－アミノ－３－｛［（３－クロロ－４－フルオロフェニル）スルファニル］メチル｝－４－ヒドロキシビシクロ［３．１．０］ヘキサン－２，６－ジカルボキシレートである請求項１記載の化合物またはその薬学的に許容可能な塩。
【請求項９】
少なくとも１つの薬学的に許容可能な担体、賦形剤または希釈剤とともに、請求項１から８のいずれか１項に記載の化合物またはその薬学的に許容可能な塩を含む、医薬組成物。

【請求項１０】
請求項１から８のいずれか１項に記載の化合物またはその薬学的に許容可能な塩を含む、うつ病性障害を処置するための医薬組成物。